

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	533 臨時河川等整備事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	03	河川費
基本 施策	20 美しい川の環境を維持する	目	03	準用河川改修対策費
		細目	632	準用河川改修事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	臨時河川等整備事業
担当部課	コード	190500		担当者 氏名
	名称	産業建設部建設1課		
		連絡先	43 - 2323 (内線) 236	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	河川近隣の住民	※対象件数
成果(どうする)	降雨時における浸水被害の解消が図れる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	河川環境を維持しながら準用河川改修整備を実施する。 平成21年度事業内容 里川河川改修工事 L=68m 金剛寺川河川浚渫工事L=80m ネカス川河川浚渫工事L=99m	
社会情勢の 変化等	圃場整備事業で河川改修が進んでいるが、まだまだ未改修が多く、河川環境を保持しつつ、市民の生命・財産を守るため、河川改修整備を進めていく。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地	準用河川里川河川改修
2 建設面積 (延床面積)	全長 2.3km 計画流量 13.73m3
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
河川改修延長	m	目標		68	300	300
		実績		68		
		目標				
		実績				

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
実施した箇所数	件	河川整備することにより、浸水被害箇所を軽減する。(予定箇所数/実施箇所数)	目標	2	3	3	3
			実績	2	3		
			目標				
			実績				

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	38,325	19,099		13,200		32,000		
Aの 財源 内訳	国庫支出金	20,000	3,400		4,000		9,000	
	県支出金							
	地方債	14,200	8,600		0		0	
	その他	0	0		0		0	
一般財源	4,125	7,099		9,200		23,000		
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600			
フルコスト(A)+(B)	41,925	22,699		16,800		35,600		

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○ ○ 本事業による河川改修整備により、浸水被害が解消されている。
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 予算の繰越の有無 有 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 繰越明許費	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 きめ細やかな臨時交付金事業の早期発注に努める。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 社会資本整備総合交付金事業 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○ 事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	工事施行計画を十分検討し、工事期間の短縮化を図るように努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 財政状況が厳しい中、国の特別経済対策(地域活性化・生活対策臨時交付金事業)を利用して里川河川改修工事(L=68m)を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	北山 太加視
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	圃場整備事業で河川改修が進んでいるが、まだまだ未改修が多く、河川環境を保持しつつ、市民の生命・財産を守るため、河川改修整備を進めていく。
現時点における課題、その他	厳しい財政事情を考慮して、国の補助メニューを活用し、河川改修事業に取り組んでいく必要がある。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成25年度末までに準用河川里川河川改修を完了させる。